

沿岸養殖の現在地と持続可能な未来

—データで問い合わせ直す日本の養殖業—

令和8年2月6日（金）13:00～17:05

オンライン開催【参加費無料】

参加申込サイト

<https://forms.gle/f8TyJPVWWd3h29Yr6>参加登録用QRコード
Symposium

Science Council of Japan

プログラム

13:00～ 開会挨拶

大越 和加（日本学術会議会員/東北大学大学院農学研究科教授）

13:05～ 趣旨説明

萩原 篤志（日本学術会議連携会員/長崎大学名誉教授）

セッション1「環境負荷の実態と養殖の持続性」

座長 伊藤 進一（東京大学大気海洋研究所海洋生物資源部門教授）

13:10～ 赤潮・貧栄養化への海の流れの影響

青木 一弘（国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所主任研究員）

13:40～ 養殖業における選抜育種

細谷 将（東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所助教）



セッション2「海産飼料原料の持続性」

座長 今田 千秋（東京大学大気海洋研究所客員教授）

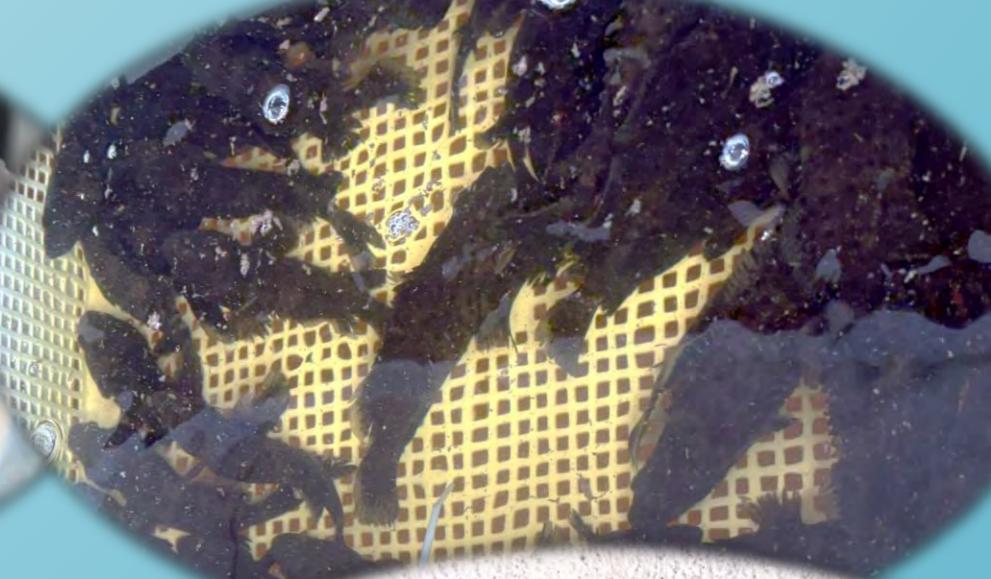
14:10～ 養魚用飼料と原料動向について

山門 光孝（林兼産業株式会社事業統括本部飼料事業部営業部長）

14:40～ 持続可能な養魚用飼料の評価方法と飼料開発

佐藤 秀一（日本学術会議連携会員/福井県立大学海洋生物資源学部教授）

15:10～15:20 休憩時間



セッション3「担い手確保と地域継続性」

座長 波積 真理（熊本学園大学商学部教授）

15:20～ 沿岸養殖に関わる担い手と地域の変化と課題

三木 奈都子（国立研究開発法人水産研究・教育機構理事）

15:50～ 現場から見えるつなぐ力

深川 沙央里（株式会社クリエーションWEB PLANNING代表取締役）



16:20～ パネルディスカッション「沿岸養殖の基盤を立て直すには」

モデレーター ハ木 信行（日本学術会議連携会員/東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

パネリスト 三木 奈都子（国立研究開発法人水産研究・教育機構理事）

深川 沙央里（株式会社クリエーションWEB PLANNING代表取締役）

副島 久実（摂南大学農学部准教授）

林 陽子（神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター農政部地域農政推進課主査）

浪井 大喜（浪井丸天水産代表）

17:00～ 閉会の挨拶

ハ木 信行（日本学術会議連携会員/東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

主催：日本学術会議食料科学委員会水産学分科会

共催：水産・海洋科学研究連絡協議会、日本農学アカデミー、公益社団法人日本水産学会

後援：一般社団法人大日本水産会、全国漁業協同組合連合会、一般社団法人水産海洋学会、日本付着生物学会、一般社団法人日本魚病

学会、国際漁業学会、日本ベントス学会、日本魚類学会、地域漁業学会、日仏海洋学会、一般社団法人日本海洋学会、日本水産増殖学

会、マリンバイオテクノロジー学会、日本水産工学会、日本プランクトン学会、漁業経済学会、日本藻類学会、日本海洋政策学会

お問い合わせ先
高須賀 明典
atakasuka(a)mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
※(a)を@にしてください